



平ボデー 解体マニュアル

2025年12月

 **北海道車体株式会社**

目 次

1. はじめに.....	2
2. 解体にあたっての注意事項.....	2
3. 概略構造.....	3
4. 解体手順	
4-1) 艀装部品の取り外し.....	4
4-2) 荷台のシャシからの分離.....	5
4-3) 側面・後面アオリの取り外し及び分解.....	6
4-4) 中間柱・後柱の取り外し.....	7
4-5) 鳥居の取り外し.....	8
4-6) フロアの分解.....	9
5. 分別処理のお願い.....	10

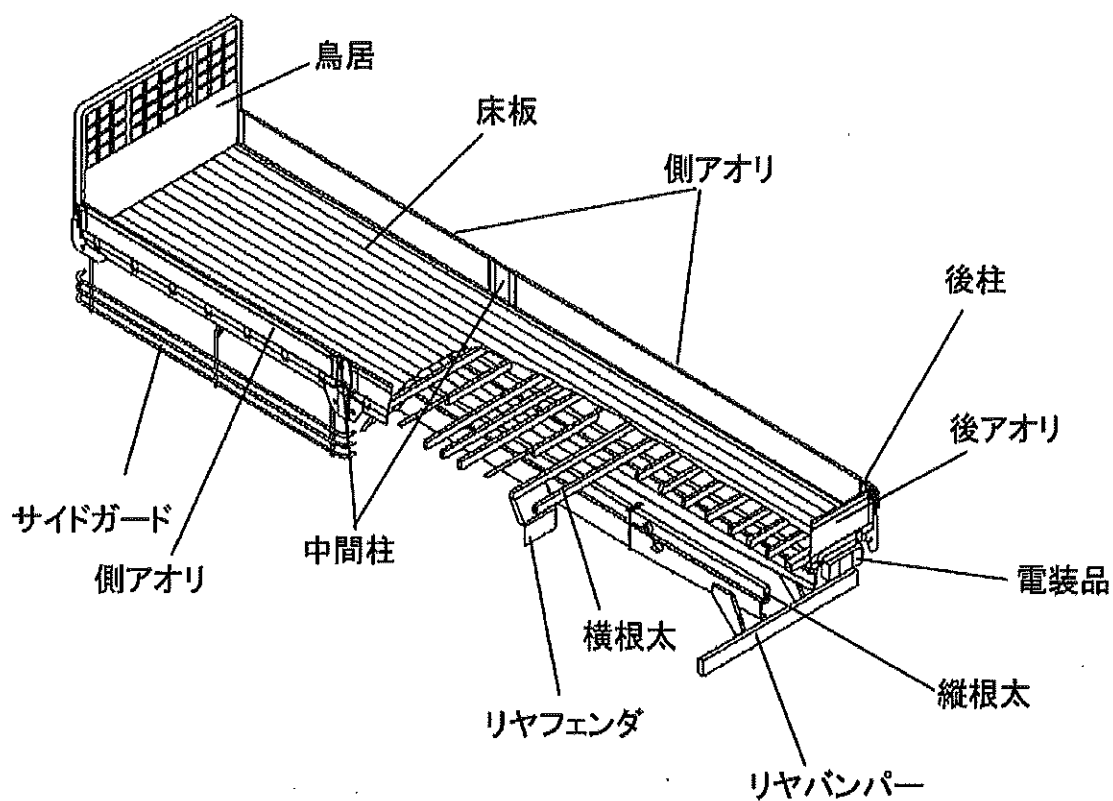
1. はじめに

- 1-1) 本解体マニュアルは、北海道車体(株)製の【平ボデー】の解体に関して「適正で効率的な作業方法」を案内し、使用済み架装物処理の各段階での適正かつ安全に処理するための手順をまとめてあります。
- 1-2) 本解体マニュアルは、製造時の状態から解体する一般的な手順を示しています。
製品の使用過程において、この通り分解できない場合もありますのでご留意下さい。
- 1-3) 本解体マニュアルに記載の内容は、予告なく改訂することがありますので予めご了承下さい。

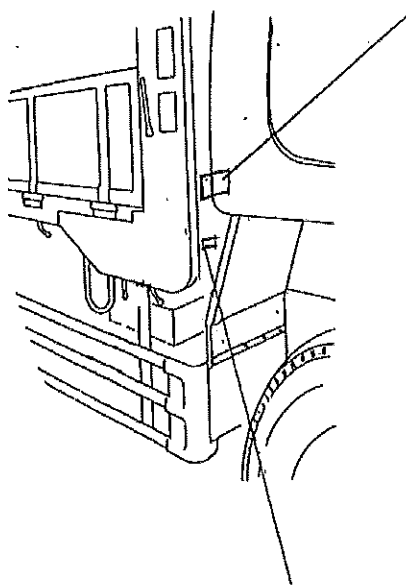
2. 解体作業にあたっての注意事項

- 2-1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じた保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を必ず着用して下さい。
- 2-2) 高所作業については、安全带、足場の確保等転落防止措置を講じて下さい。
- 2-3) 燃料系及び作動油等の除去・回収に当たっては消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 2-4) 油脂・液体系の回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 2-5) タンク等の解体時は有害物質などの除去・洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業して下さい。
- 2-6) 上記注意事項以外に、以下の法律を遵守するようにお願いします。
 - ・廃棄物処理法 ・労働安全衛生法 ・大気汚染防止法 ・水質汚濁防止法
 - ・騒音規制法 ・毒劇法 ・消防法 等

3. 概略構造



樹脂類材料銘板取付位置



製品番号プレート取付位置

製品番号表示例

No. 25 12 38

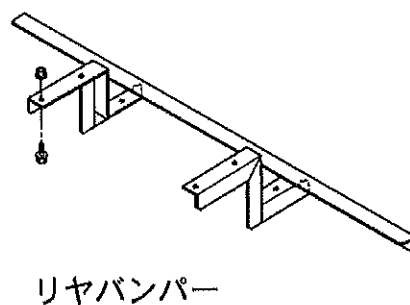
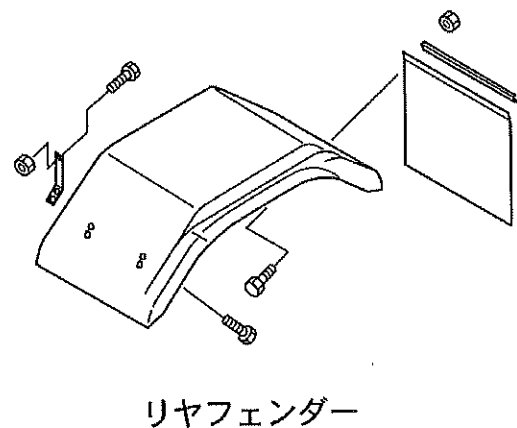
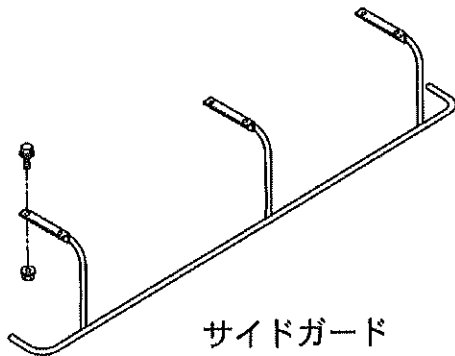


製品番号プレート

4. 解体手順

4-1) 艀装部品の取り外し

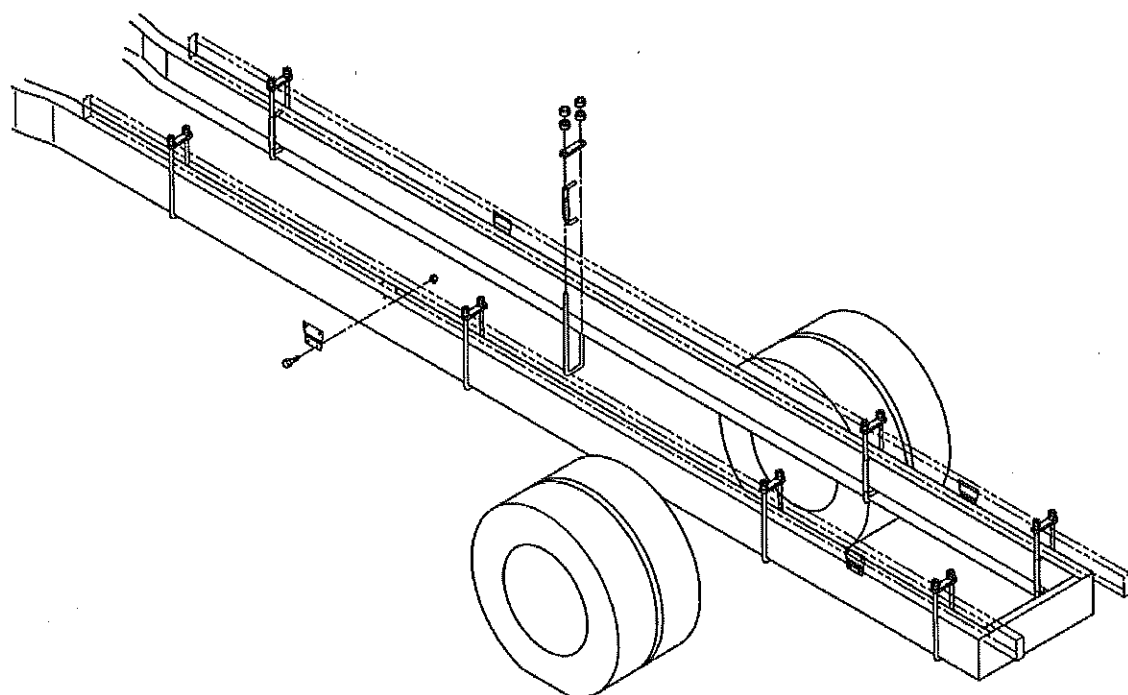
- (1) サイドガード、リヤフェンダー、リヤバンパー等の下回り部品を固定しているボルト、ナットを外し、横ネタやシャシフレームから取り外します。
溶接で固定されている場合は、グラインダー等で切断します。
- (2) 内装材、ラッシングレール、クッション材、腰鉄板等は、タッピングスクリュー又はリベットで取り付けられているので全て外します。リベットは、芯経よりやや太いドリルで芯部に穴をあけ分解します。
- (3) 荷台内外部の電装品(マーカーランプ、作業灯、スイッチ類)は、タッピングスクリュー又はリベットで取り付けられているので全て外します。また内部にテープで固定されている電気配線類を全て外します。



4. 解体手順

4-2) 荷台のシャーシからの分離

- (1) 縦根太とシャーシフレームを連結しているUボルト(片側3～7箇所)の締め付けボルト、ナットを外します。
- (2) 同様に、縦根太とシャーシフレームを連結している対向ブラケット及びスベリ止めのボルト、ナットを外します。
- (3) 荷台をクレーン等で吊り上げて、シャーシフレームから降ろします。



4. 解体手順

4-3) 側面・後面アオリの取り外し及び分解 【アルミブロックアオリの場合】

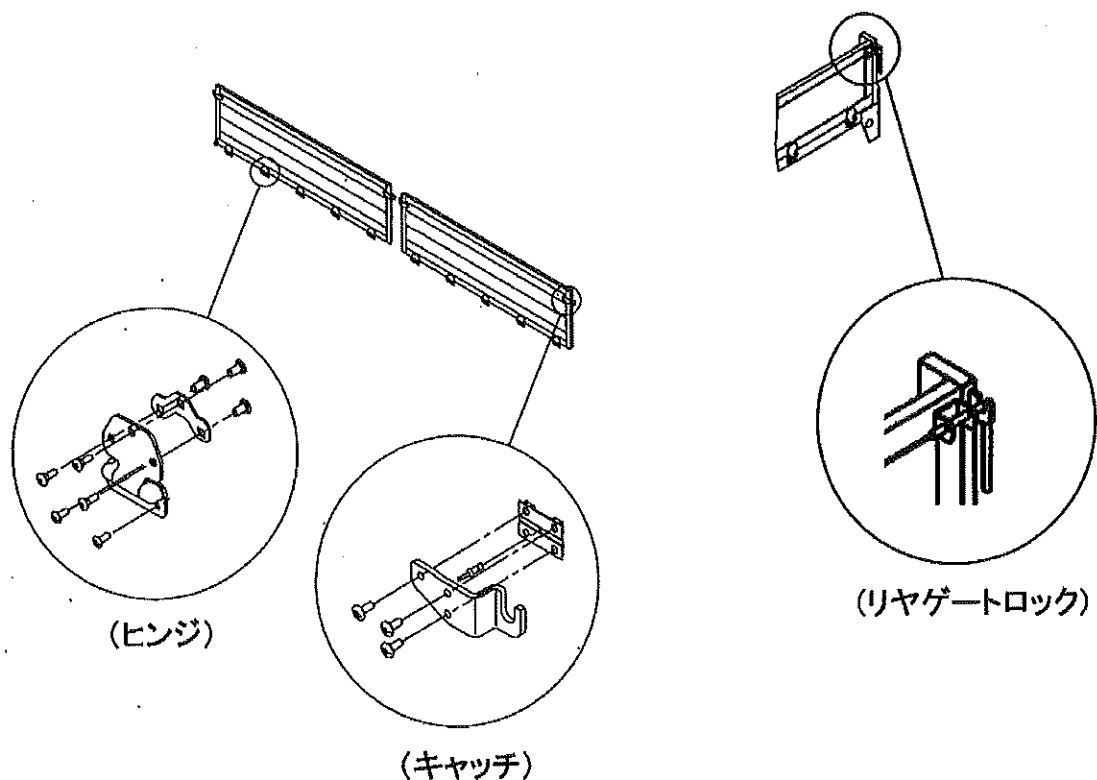
- (1) 側アオリのヒンジ下部の取り付けボルトを外し、エビ金具等のロックを解除してアオリをボデーから外します。

アオリヒンジのピンを脱着させて外す場合は、ピンを抜き、エビ金具等のロックを解除してアオリボデーからを外します。

アオリの下ヒンジが溶接にて固定されている場合は、グラインダー等で切断します。

- (2) アオリはリベット、ボルト類で固定されているので、分解します。

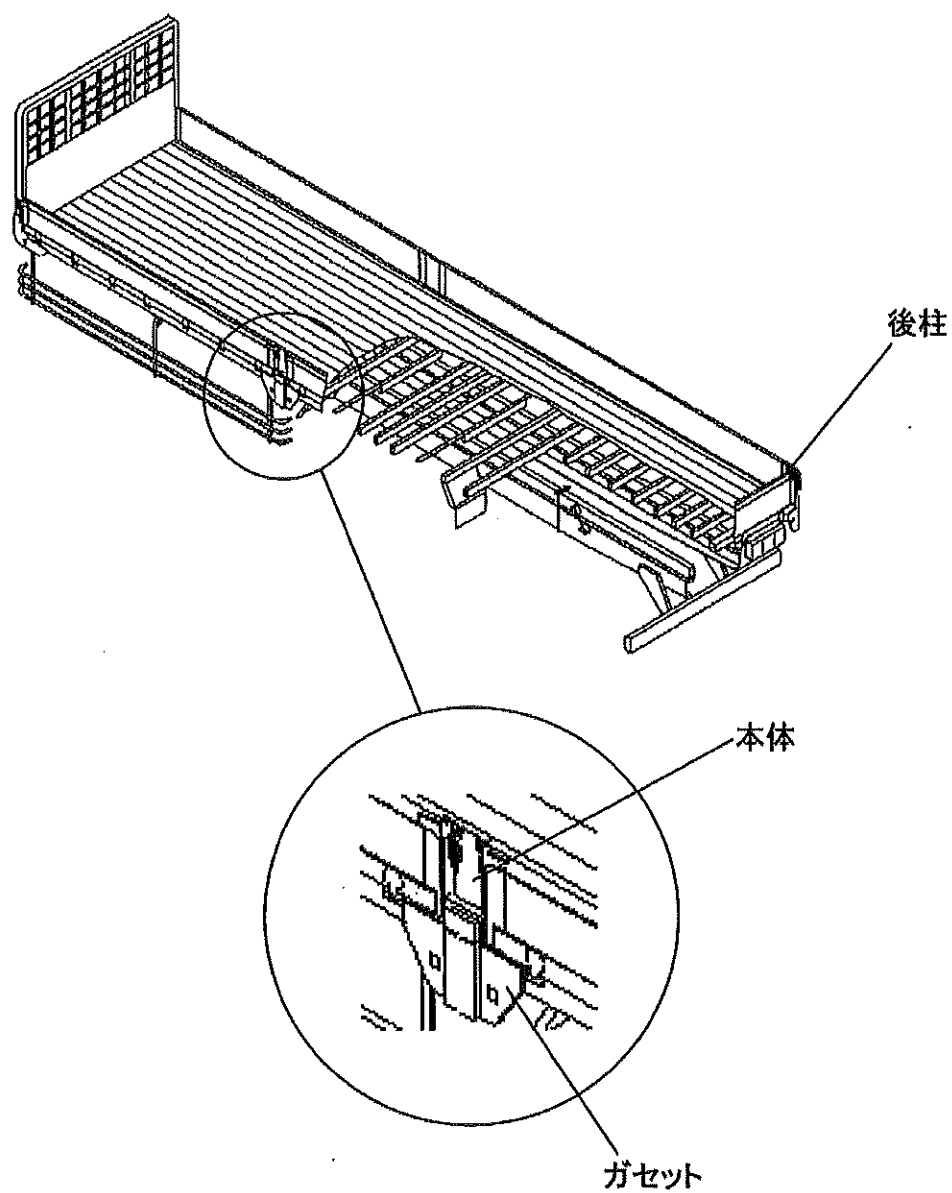
- (3) 後ろアオリも側アオリ同様に(1)～(2)の手順で分解します。



4. 解体手順

4-4) 中間柱・後柱の取り外し

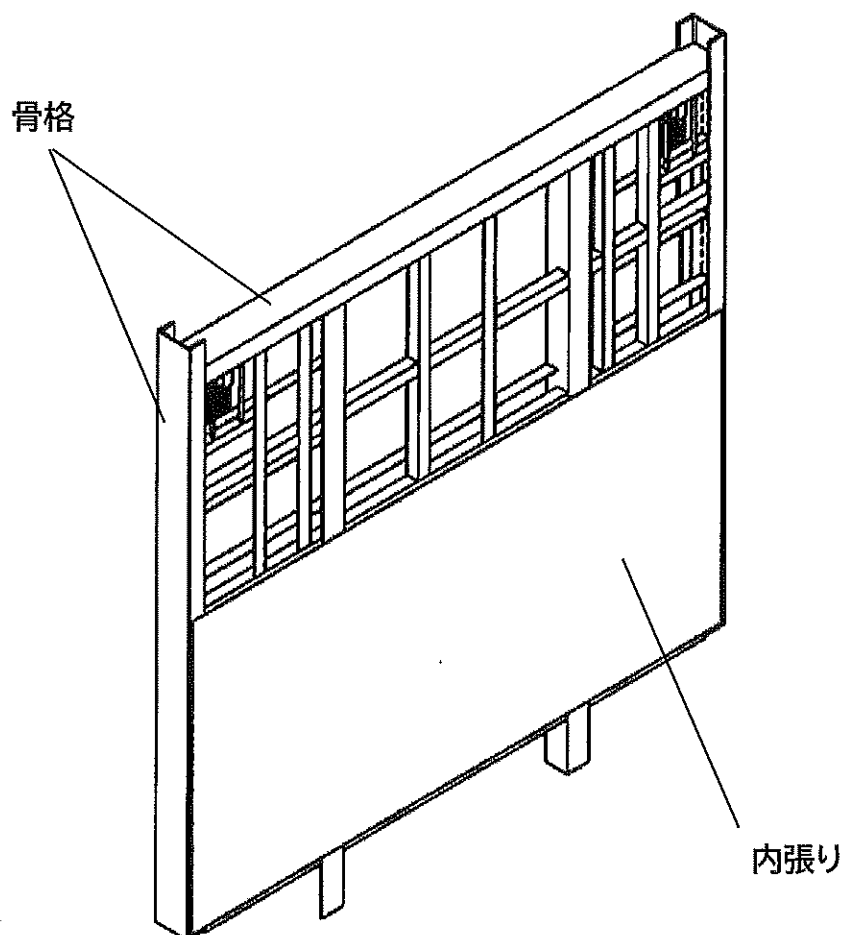
- (1) 中間柱・後柱本体を抜き取ります。
- (2) ガセットは、床枠と溶接にて固定されているので、グラインダー等で切断します。
- (3) 後柱も中間柱同様に(2)の手順で分解します。



4. 解体手順

4-5) 鳥居の取り外し・解体

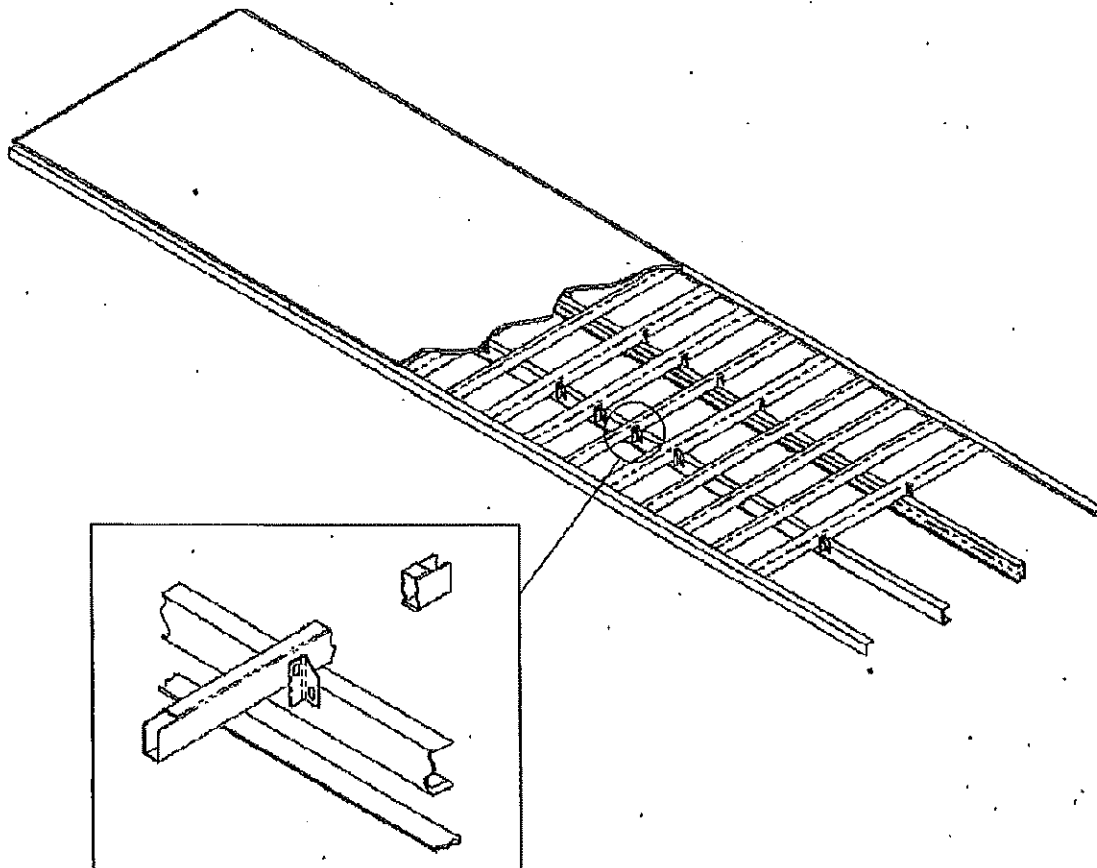
- (1) 解体時は鳥居が倒れない様にクレーン等で吊り、フローア及び床枠との溶接をグラインダー又はガス等を使用して切断、分離します。
- (2) フロアから鳥居を取り外します。
- (3) 鳥居本体の内張りに、鉄板・アルミ板・木材等が使用されているので、それらを確実に分離して骨格(鋼材)だけにし、適宜に切断し処理して下さい。



4. 解体手順

4-6) フロアの分解

- (1) 床板が木材で、横根太にビスで固定されている場合は、全て取り外して床板を剥がします。ビスが固着している場合は、横根太間を丸鋸等で切断し、バール等挟んで剥がします。
- (2) 床板が鉄板で溶接されている場合は、鳥居下部及び床板部との溶接部をグラインダー又はガス等を使用して分解して下さい。
- (3) 縦根太と横根太は、連結材により溶接で固定されているので、全てグラインダー又はガス等を使用して切断します。
- (4) 根太パッキンが、縦根太にタッピングスクリューで固定されている場合は、取り外して適宜切断してください。



5. 分別処理のお願い

5-1) 分解した部品等は、材質別に分類し適正にリサイクル処理をして下さい。

5-2) 使用済み架装物等に含まれる有害物質及び埋め立てが禁止されている部品・材料等並びにそれらを含む部品を破碎処理する前工程で選別し、適正に保管・処分を行って下さい。

5-3) 環境負荷物質を含む部品等については、確実に分解し適正な処理に努めて下さい。
環境負荷物質使用部品事例は、車体工業会ホームページを参照して下さい。

5-3) FRP、断熱材、木材、ゴム及び樹脂系ライニング等の解体後処理については、専門処理業者に委託し適正に処理を行って下さい。
専門処理業者については、車体工業会ホームページ「処理協力事業者一覧表」も参照して下さい。

お問い合わせ窓口

品質安全保証室

北海道北広島市大曲工業団地2丁目7番地3

TEL 011-376-2111

FAX 011-377-7888

地球の恵みを、社会の望みに。



北海道車体株式会社